

# FLOAT RAISER

半潜水型スパッド台船

## 主要諸元

船名：FLOAT RAISER (フロートレイザー)

FLOAT RAISERは、浮体(FLOAT)を立てる船(RAISER)の意味を込めて命名されました。

船体仕様：全長110.0m、全幅43.0m、深さ6.8m、喫水4.7m、総トン数12,300t

アイランド：船首側 長さ27.0~31.0m、幅7.0m、高さ16.4m

船尾側 長さ25.0~29.0m、幅7.0m、高さ14.2m

デッキ面積：約3,890m<sup>2</sup>

載貨重量：約13,500t

沈降能力：1.2~6.7m/h (バラストポンプ 2,000m<sup>3</sup>/h×4台 電動モータ駆動)

係留設備：スパッド 長さ40.0m (1.5m×1.5m角型)×4本

アンカー 7tストックレス×4セット

ワイヤーケーブル：φ50mm×800m×4セット(50t型ウィンチ)

φ46mm×800m×4セット(25t型ウィンチ)

駆動発電機：主発電機 750kW×2台、補助発電機 160kW×1台

## 会社概要

名称：オフショア ウィンドファーム コンストラクション 合同会社

代表社員 / 戸田建設株式会社

社員 / 株式会社吉田組

所在地：東京都中央区京橋1-7-1 TEL：03-3535-1630

### 【お問い合わせ先】

戸田建設株式会社

TEL：0570-0027-05

株式会社吉田組

TEL：03-6661-9988

リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料【Aランク】のみを用いて作製しています。



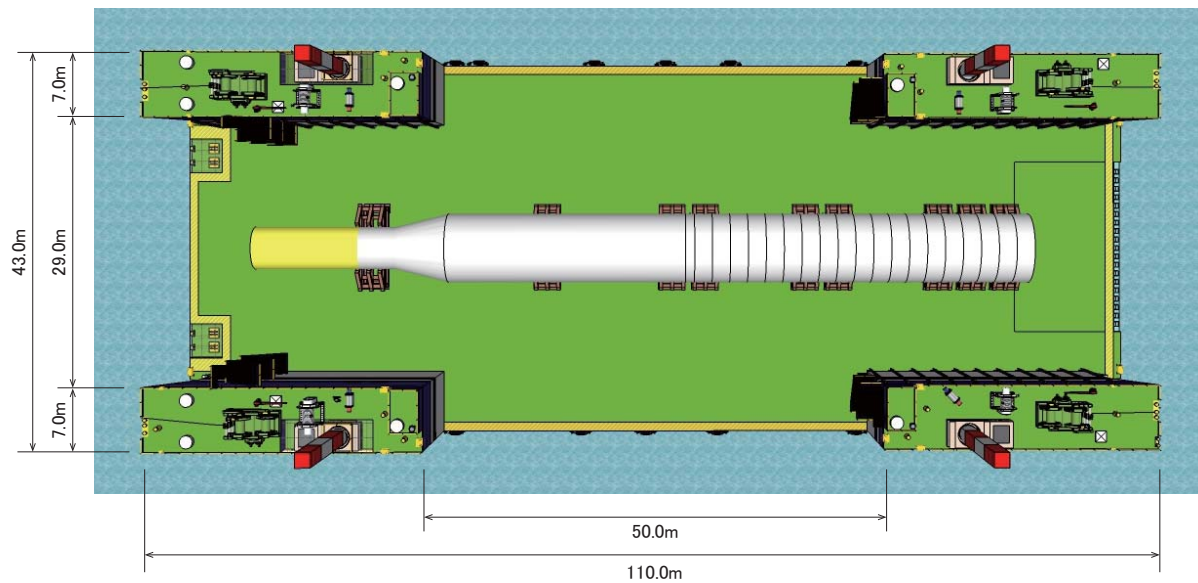


## 概要

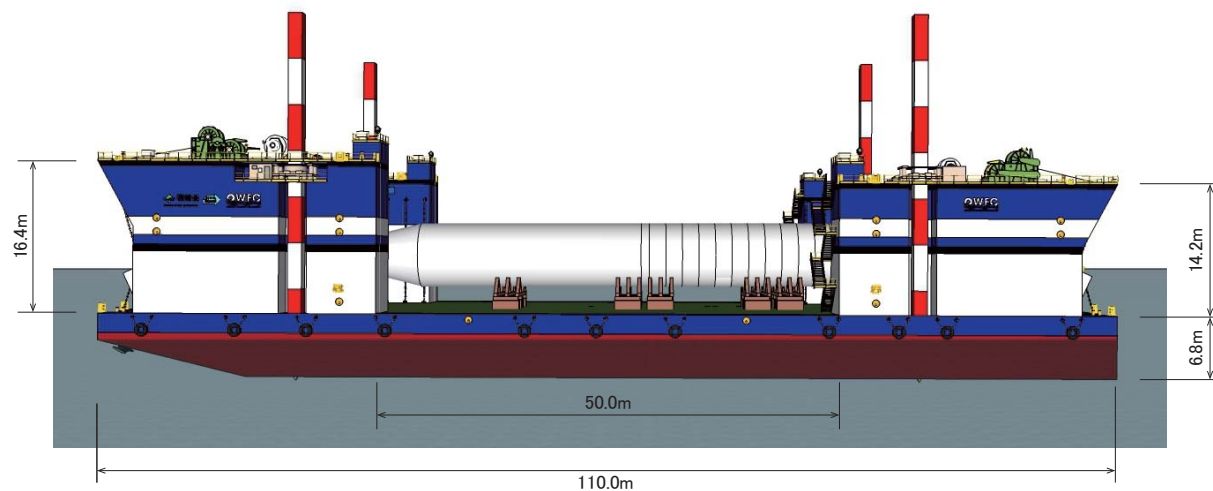
本船は、再生可能エネルギーの中で最も大きな導入ポテンシャルを有する洋上風力発電の、本格的な普及促進並びに温室効果ガス排出削減に向け、低炭素かつ効率的な施工手法を確立することを目的として、平成28年度より環境省の低炭素型浮体式洋上風力発電低コスト化・普及促進事業による補助を受けて建造したものです。

## 半潜水型スパッド台船の特徴

- ① 陸上で建造した、浮体式洋上風力発電施設のハイブリッドスパー型浮体を、バラスト調整しながら台船上に多軸台車等でロールオン(積み込み)し、沖合にて半潜水状態で浮体をフロートオフ(浮上・進水)できます。
- ② 岸壁で建造した、ケーソン等の重量構造物の進水も可能で、浮体式洋上風力発電施設に限らず、着床式洋上風力発電施設の建設にも活用できます。
- ③ 縦横どちらからでもロールオン(積み込み)が可能で、約5,000tまでの重量物に対応できます。
- ④ 甲板上より7.4mまで沈降可能で、前後に傾斜を付けた状態で沈降できます。



頂部/作業甲板 平面図 (2MW浮体搭載イメージ)



左舷 側面図

## 半潜水型スパッド台船ができるまで



01 台船部建造



02 アイランド部建造



03 進水



04 スパッド搭載



05 沈降試験

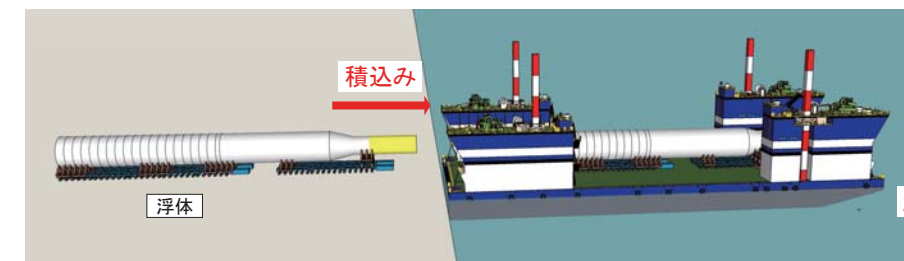


06 完成

## ロールオン・フロートオフの手順

ハイブリッドスパーの施工の他に、スパー、ケーソン、ジャケット、作業船等のロールオン、フロートオフに活用できます。

### ■ ロールオン



### ■ フロートオフ

